



みんなのできる 地球温暖化防止活動

— IPCCから第6次評価報告書が公表されました!! —

福島県地球温暖化防止活動推進センター

事務局長 **鈴木和隆**

(特定非営利活動法人つくしまNPOネットワーク)

■ IPCC

IPCCの第56回総会が、2022年3月21日から4月4日までオンラインで開催されました。IPCCとは、「気候変動に関する政府間パネル (Intergovernmental Panel on Climate Change)」の略称です。世界気象機関 (WMO) と国連環境計画 (UNEP) が共同で1988年11月に設立した国連組織の一つです。気候変動に関する世界の研究成果を調査・整理し定期的に評価報告書 (AR) をまとめて公表しています。

■ 第6次評価報告書 (AR6)

IPCCには、評価対象により3つの作業部会 (WG) があります。第1作業部会 (WG1) は自然科学的根拠、第2作業部会 (WG2) は影響・適応・脆弱性、第3作業部会 (WG3) は気候変動の緩和を対象としています。WG1は2021年8月、WG2は2022年3月、そして4月4日にWG3が、第6次評価報告書 (AR6) / WG3報告書 (AR6 / WG3報告書) を公表しました。

報告と略されます。) を公表しました。

■ 政策決定者向け要約 (SPM)

AR6 / WG3の評価報告書は、前文、本体、サマリーなど全体では3000ページ近く、すべて英文です。これを読むことは非常に根気がいりますので、64ページのサマリー (要約) が準備されています。別に、図表だけを見ることが出来ます。日本語の暫定訳もあります。 (https://www.env.go.jp/press/files/AR6_WG3_SPM.pdf)

■ みんなのできる地球温暖化防止活動

AR6を読まないと、地球温暖化防止活動ができないわけではありません。しかし、暫定訳を読むと、温室効果ガス排出の現在のトレンド、地球温暖化抑制のための社会変革の必要性、特にエネルギーと物質の消費の削減、SPM第6図「2050年までの需要緩和オプションの潜在的可能性」、気候変動の影響を緩和し適応するための気候行動の提案など、魅力的な最新の情報に触れることができます。福島県センターでは、WG1、WG2、WG3それぞれの政策決定者向け要約 (SPM) の出前講座 (資料の配布や説明会など) を開催しています。希望の団体・人はご連絡ください。電話・024-944-0083

(連絡先) <http://fukushima-ondankaboushi.org/>